

the most beautiful
villages
in japan

松崎町は「日本で最も
美しい村」連合に加盟
しています。



広報

まつざき

2015
(平成27年)

12
No.619



平成27年度 一般会計 上期執行状況

平成27年度の4月1日から9月30日までの一般会計の執行状況をお知らせします。

歳入

40億2,324万8千円 上段：予算額
20億2,058万2千円 下段：収入済額（ ）：収入率（50.2%）

地方交付税	15億 171万 6千円 10億9,187万 1千円	(72.7%)
町 税	6億5,301万 4千円 3億8,275万 8千円	(58.6%)
国庫支出金	3億2,287万 7千円 8,178万 5千円	(25.3%)
繰越明許費	2億8,372万 1千円 1億 29万 3千円	(35.3%)
県支出金	2億6,998万 9千円 1,812万 3千円	(6.7%)
町 債	2億 502万 9千円 0円	(0%)
諸 収 入	1億2,986万 9千円 4,260万 7千円	(32.8%)
繰 越 金	1億円 1億6,673万 8千円	(166.7%)
地方消費税 交 付 金	8,600万円 8,536万 5千円	(99.3%)
使用料及び 手 数 料	7,352万 4千円 1,954万 1千円	(26.6%)
そ の 他	3億9,750万 9千円 3,150万 1千円	(7.9%)

歳出

40億2,324万8千円 上段：予算額
15億2,884万6千円 下段：支出済額（ ）：支出率（38.0%）

民 生 費	9億3,609万円 3億9,041万円	(41.7%)
総 務 費	5億9,025万 2千円 2億3,536万 1千円	(39.9%)
衛 生 費	4億6,211万 5千円 1億5,313万 4千円	(33.1%)
土 木 費	2億9,977万 5千円 3,289万 2千円	(11.0%)
公 債 費	2億9,793万円 1億4,771万円	(49.6%)
教 育 費	2億9,396万 9千円 1億1,429万 3千円	(38.9%)
繰越明許費	2億8,372万 1千円 1億3,679万 7千円	(48.2%)
消 防 費	2億7,052万 8千円 1億 156万 2千円	(37.5%)
農林水産業費	2億5,656万 6千円 5,813万 6千円	(22.7%)
商 工 費	2億2,626万 3千円 9,665万 6千円	(42.7%)
そ の 他	1億 603万 9千円 6,189万 5千円	(58.4%)

町民1人あたりでは

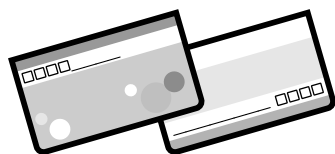
平成27年9月30日までに
納めていただいた税金（町税） **約5万3千円**

平成27年9月30日までに
使ったお金 **約21万3千円**

9月30日現在の基金（町の貯金）と町債（町の借金）の状況

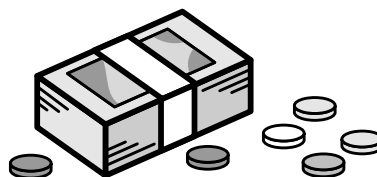
●町の貯金（財政調整基金等、14基金）

17億7,223万 5千円
町民1人あたり約24万 7千円



●町の借金

30億8,267万 2千円
町民1人あたり約42万 9千円



※1人当たりの値は、9月30日現在の人口7,185人で計算しています。

【問合せ】総務課（42）3963

振興公社管理施設上半期実績

平成27年度上半期振興公社管理施設の実績は、景気が緩やかに回復してきていることや、東駿河湾環状道路と圏央道の開通によるアクセスの改善等もあり、伊豆まつぎ荘の利用者は増加しました。

しかしながら、入館施設では団体客の減少が大きく、前年度を下回りました。

伊豆まつぎ荘は、好評の「富士山プラン」の継続や、時期や曜日等を限定したプランの実施で939人増加することができました。

また、昨年度から始めた町民紹介割引制度でも、825

人のお客様をご紹介いただき、日帰り入浴や会食等の休憩に
おいても、地元の皆様に変
多くご利用いただいています。

8月下旬からは、平日の集客に強い「お宿情報ゆこゆこ」の提携を始めました。今後も、多くの皆様に伊豆まつぎ荘を知っていただくため、お客様に喜んでもらえる企画を検討してまいります。

【問合せ】

企画観光課（42） 3964

平成27年度 上半期 施設利用状況

施設名	本年度(人)	前年度(人)	比較(人)	割合(%)	
伊豆まつぎ荘	宿泊	11,033	10,094	939	109.3%
	入浴	3,014	1,763	1,251	171.0%
	休憩	3,044	2,886	158	105.5%
	小計	17,091	14,743	2,348	115.9%
伊豆の長八美術館	入館	14,229	16,193	△ 1,964	87.9%
重文岩科学学校	入館	9,173	11,162	△ 1,989	82.2%
明治商家 中瀬邸	入館	7,347	9,654	△ 2,307	76.1%
民芸館	利用	4,470	4,729	△ 259	94.5%
道の駅花の三聖苑	利用	10,868	12,879	△ 2,011	84.4%
	入浴	3,124	16,573	△13,449	18.8%

※かじかの湯は源泉の詰まりにより、4/17～9/4休館

地方創生戦略策定調査報告②（全11回） 協働のまちづくりと景観保全を学ぶ

（長野県小布施町・高山村）

長野県小布施町

小布施町は、長野県北部に位置し、人口が約1万1200人、面積は当町の約4分の1で、県内で一番面積の小さい自治体です。

研修では、町並修景事業や花のまちづくり事業等の取り組みについて説明を受けました。まちづくりの基本は「外はみんなのもの、内は自分たちのもの」という考え方で、訪れた人々に自宅の庭を解放するオープンガーデンのように、「おもてなし」をしようとする住民の高い志によって、まちづくりが進められていたことが大変印象的でした。

また、町民との協働の中で、小布施まちづくり委員会があります。活動は、自分たちが行いたいまちづくりのテーマに沿って自主的に進められています。一方で責任と役割を明確にするために町行政とパートナーシップ協定を結んでいます。これにより行政も

委員会の提言を尊重することになり、委員のモチベーションも上がるので、当町においても参考にすべきではないかと感じました。

長野県高山村

高山村は、小布施町の東隣に位置し、人口は当町と同じくらいですが面積はやや大きく、リンゴやブドウ等果樹栽培が盛んな村です。

村のまちづくりは、主産業である農業に力を入れ、農地を守ることによって、元気なお年寄りを増やし、山里の原風景を次代に継承していく取り組みでした。具体的には、村営の堆肥製造施設での資源循環による環境保全型農業への取り組みや耕作放棄地の未然防止のための国交付金事業の積極的活用、お年寄りでも栽培可能な「ワインぶどう」の振興、その他にも美術大生がぶどうの箱をデザインする等、外部の力も積極的に活用しています。

また村では、「人と自然が共生する」を基本理念に、全国で2番目に建築等行為を規制する景観条例を制定しています。今も残る山里の原風景を次代へ継承するために、村内6つの地区を5つの景観ゾーンに分け、それぞれ地域の特性に合わせたまちづくりを進めていきました。村長のコメントに「一番力を入れているのは自然を守るための努力。自然は放っておいては守られない」とあり、景観に対する強い思いが感じられました。

当町においても町民と協働で景観保全のためのルールづくりの必要性を感じた研修でした。

【第8グループ記】



研修視察の様子（高山村役場）

松崎町功労者表彰

11月19日、環境センター文
化ホールにて、松崎町功労者
表彰式が行われました。

この表彰は、松崎町表彰条
例に基づき、町の自治、福祉
等、各般にわたって、町の発
展に寄与された方の功績をた
たえるものです。
受章された方々は、次のと
おりです。



平成27年度松崎町功労者表彰式にて

功労表彰

松尾 鈴木源一郎さん
(元 町議会議員)

多年にわたり、町議会議員
として町政の発展に尽力し、
地方自治の振興に貢献。

道部 一瀬壽一さん
(元 町議会議員)

多年にわたり、町議会議員
として町政の発展に尽力し、
地方自治の振興に貢献。

有功表彰

小杉原 桐山秀夫さん
(元 消防団分団長)

多年にわたり、消防団分団
長等として、防災活動の指揮
等に献身し、町民の安全確保、
民生の安定に貢献。

岩地 齋藤重さん
(元 町議会議員)

多年にわたり、町議会議員
として町政の発展に尽力し、
地方自治の振興に貢献。

江奈1 堤敏夫さん
(現 保護司)

多年にわたり、保護司とし
て犯罪の予防、犯罪や非行を
した者の自立更生等に尽力し、
社会福祉の増進に貢献。

善行表彰

模範行為

峰 山本尚子さん

多年にわたり、岩科重文ま
つり等にて野点を開催し、地
域において、文化の振興に貢献。

模範行為

宮内 加藤廣さん

多年にわたり、ソフトテニス
スポーツ少年団の代表者とし
て子どもの指導にあたり、ス
ポーツの振興や青少年の健全
育成に貢献。

環境美化

中村老人会

多年にわたり、沿道美化活動
や環境整備を行い、花いっぱい
運動を積極的に推進するとと
もに、静岡県のアダプト・ロー
ド・プログラムにも参加し、
潤いのあるまちづくりに貢献。

感謝状

環境美化

三聖苑花クラブ

多年にわたり、道の駅花の
三聖苑伊豆松崎の花壇管理に
尽力し、地域に潤いとやすら
ぎを与え、花いっぱい運動に
貢献。



受章者の鈴木さんからの謝辞

【問合せ】
企画観光課 (42) 3964

栄えある叙勲

瑞宝双光章(教育功労)

藤池 清信さん(桜田)

平成27年秋の叙勲に、前教
育長で、元松崎中学校長の藤
池清信さんが教育功労で、瑞
宝双光章の栄に浴されました。
藤池さんは、平成14年3月
に退職するまでの35年間、「子
どもあつての教育」を信念と
し、確かな教育理論と理念を
持ち、時代を見据えた先見性
のもとに教育に尽力されまし
た。また、平成22年1月8日
から4年8カ月間にわたり、松
崎町教育長として、学校教育
と社会教育の学社連携・融合
を基本に、生涯学習の形成、
学校・家庭・地域の連携強化
に努められました。



叙勲を受章した藤池さん

【問合せ】
教育委員会 (42) 3971

伊豆下田納税貯蓄組合連合会 税の作品審査結果について

毎年11月11日から11月17日までの1週間は、「税を考える週間」となっています。

国や地方公共団体は、私たちが豊かで安定した暮らしができるように、いろいろな活動を行っています。

例えば、社会保障の充実、施設や道路の整備、教育の振興等、その活動は幅広い分野にわたっていますが、これらの財源は税によって賄われています。

「税を考える週間」は、生活に深い関わりを持っている税について、その意義(必要性)や役割(使途)および、税務行政の現状を分かりやすく説明するとともに、国や地方公共団体の基本となる税に対する理解を深めていただくことを目的として、毎年全国的に税に関する広報等が実施されています。

その行事の一環として、伊豆下田納税貯蓄組合連合会では、今年も小学生・中学生を対象に「税に関する作品(ポ

スター、習字、作文)」を募集しました。

この事業は、次の世代を担う小学生・中学生に作品を応募してもらうことを機会に、私たちの生活に欠かすことのできない税について、その仕組みや目的を知り、税に対する理解を深めていただくことを目的に開催しています。

今年は、賀茂地区の小学校・中学校から習字の部に303点、ポスターの部に50点、作文の部に220点の応募がありました。

松崎町では、松崎小学校から習字の部に40点、松崎中学校から作文の部に13点の応募があり、審査の結果、習字の部および作文の部において入賞者が以下のとおり決定しました。

受賞作品は、11月11日から11月17日の期間、役場窓口税務課で展示しました。

【問合せ】
窓口税務課(42) 3968

入賞作品

作文

静岡県納税貯蓄組合連合会
会長賞

鈴木菜穂さん(松中3年)

静岡県納税貯蓄組合連合会
優秀賞

菊地美優さん(松中2年)

習字

伊豆下田納税貯蓄組合連合会

佳作

菊地涼太さん(松小6年)

松崎町教育長賞

菊地美瑚さん(松小6年)

松崎小六年 菊地涼太
租税教育

松崎小六年 菊地美瑚
租税教育

松崎町長賞
土屋茉莉桃さん(松小6年)

伊豆下田納税貯蓄組合連合会
山本遼佳さん(松小6年)

松崎小六年 土屋茉莉桃
租税教育

松崎小六年 山本遼佳
租税教育

軽自動車税率が変わります

平成28年度から、二輪車・小型特殊自動車等の車両と三輪・四輪車の税率が変更され、左表のとおりとなります。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

車種区分	標準税率	
	新税率	
原付	50cc以下	2,000円
	50cc超90cc以下	2,000円
	90cc超125cc以下	2,400円
	ミニカー	3,700円
軽二輪(125cc超250cc以下)	3,600円	
小型二輪(250cc超)	6,000円	
小型特殊自動車	農耕用	2,400円
	その他	5,900円

車種区分	標準税率		重課税率(※2)		
	現行	新税率(※1)			
三輪	3,100円	3,900円	4,600円		
四輪以上	乗用	自家用	7,200円	10,800円	12,900円
		営業用	5,500円	6,900円	8,200円
	貨物用	自家用	4,000円	5,000円	6,000円
		営業用	3,000円	3,800円	4,500円

※1 平成27年4月1日以降に新車登録したものは新税率となります。
※2 重課税率は平成28年度では初度検査年月が平成14年12月以前の車が対象です。初度検査年月は車検証で確認ができます。

【問合せ】
窓口税務課(42) 3968



ビューティーウォーク

10月25日、参加者は秋の町内をノルディックウォークで巡りました。また、伏倉区にある桑葉農園にて、桑葉ファームの方より桑葉の効能等についてお話いただきました。



姉妹都市帯広市から季節の贈り物

10月27日、開拓姉妹都市の帯広市から特産品のじゃがいも260kgが届きました。贈っていただいたじゃがいもは、学校給食のメニューに加えられ、子どもたちが味わいました。



第35回松崎町文化協会芸術祭

11月14日から16日までの3日間、環境センターでは松崎町文化協会が主催する芸術祭が開催されました。123人の方から出品された274点が展示され、多くの方が鑑賞に訪れました。



松崎町ハッカソン「来なきヤソン2015」

11月14日と15日の2日間、伊豆文邸では企業や町民等約40人が参加し、松崎町の魅力発信についてさまざまな視点で考える共同作業を行う「ハッカソン」が開催されました。

職員には、役場は人の役に立つ人が集まる場所になるよう5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰しんぶつ）運動を提唱していますが、こうした小さなことを積み重ね、町民の皆様信頼される職員が増えてい

ら、竹ぼううきで落ち葉を掃く音を聞き、始業の時間を迎えます。ラジオ体操が終わると全職員にあいさつしながら庁舎内を巡り、一日が始まります。

特に、当番が決まっているわけでもなく、それぞれの職員が考え、必要だと思う場所を掃除しています。

役場の一日は、毎朝の掃除から始まります。

一日の始まり

町長室からこんにちは ⑦2

これからも松崎町を活力ある美しい村にしておくための町民の皆様の協力をお願いします。

松崎町長
齋藤 文彦

こうした個人や団体の皆様の活動とともに、松崎町では、花いっぱい運動を通して町民の皆様のご協力をいただき、美しく快適なまちづくりを進めてきました。

くことを願っています。また、今月で掲載1年を迎える「キラリ、輝き人」では、町民の皆様のために自分の時間を使い、町を少しでも良くしたいと考えている人を紹介しています。

また、今月で掲載1年を迎える「キラリ、輝き人」では、町民の皆様のために自分の時間を使い、町を少しでも良くしたいと考えている人を紹介しています。

花を見て喜んでもらいたい――

渡邊 義明さん（中村）

キラリ、輝き人 No.12



中村老人会の会長を務める渡邊義明さんは、道路を通る人に花を見て喜んでもらおうと、会の仲間とともに中村区の沿道美化に努めている。会では月に2回、県道南伊豆松崎線沿いの花壇整備を行う。渡邊さんは「草取りや植栽をしていると、道を通る人が『今年もきれいですね』と褒めてくれます。このように声をかけてもらえるとき

が、一番嬉しいですね」と話す。会が管理する花壇は、県道沿いに約150坪にも及ぶ。過去には、車が誤って花壇に入ったこともあったという。渡邊さんは「道路が狭いので、作業を行うときはカラーコーンを置いて安全面にも配慮しています。このカラーコーンは地区の人が用意してくださいました。こういった気持ちがとても

ありがたいです」と話す。

中村老人会は平成16年に松尾区との合同の老人会から独立。一時は老人会廃止の声もあがったが、それではいけないとのことで、会が花壇管理を始めた。平成18年からは、地域住民や学校等が県の管理する道路の美化活動を行うアダプト・ロード・プログラムに参加している。

最後に、渡邊さんは「会の平均年齢が83歳と高齢になりました。ぜひ、新しい人にも会に入っていたきたいです。私も、長く続けていきたいと思えます」と話してくれた。

Profile

わたなべ よしあき さん
中村老人会会長。会では月2回、沿道美化活動を行っている。活動の後に、公民館で行う慰労会が楽しみ。



▶ 季節に合わせた花を植栽

地域交流通信

安曇地区文化祭

松本市安曇地区から
今年で33回目を迎える安曇地区の文化祭が10月25日に開催されました。

今回の文化祭は「楽しむ」をテーマに催しものを検討しました。

メインイベントとしてカラオケのど自慢大会を据え、学校の学習発表、地元のお祭りで行われている演芸、地元企業が経営・販売している商品を扱ったカルフエ、3種類のゲームで得点を競うこども向けのレク等を行い、地区内の老若男女を問わず大勢の方に参加していただき、大変盛況な中閉幕しました。

実は、本年度当初は「文化祭をやめる」ということも考えられていました。しかし、地域の方の「続けたい」という熱い思いと、「今までのままではいけない」という考えから、これまでの形にこだわらず新しいことに挑戦するというスタンスのもと、一から地域の皆さんと作り上げた文

化祭となりました。ある意味、第1回の文化祭になったと言えます。

今後、この新しくなった文化祭をより良くすることができよう、一層地域の皆さんと協力をしていって盛り上げていき、地域の活動の発表の場や活性化の場になることを願っています。

これから毎年良くなっているであろう安曇地区の文化祭は毎年10月末頃に行われますので、よろしければ足を運んでみてください。



◀ 大野川小学校児童による太鼓の発表

カラオケのど自慢大会▶



ストップ！悪質商法被害！あなたも賢い消費者に⑦

「詐欺被害の二次被害にご注意を！」

過去に詐欺的な投資勧誘によって被害を受けた高齢者宅に「手続きをすれば被害回復を受けることができる」として突然電話がかかってくる。あるいは、インターネット上で詐欺にあい、どうしようかと思つてインターネットを検索していると「〇〇センター」等いかにも公的な相談機関のような名称のホームページに辿り着いた…。

こうした事例の相手方は、本来、法的な紛争解決を業として行うことは法律上できかないにもかかわらず（非弁行為として刑事罰の対

象）、被害が回復するため
の手続きを行うかのように
消費者を誤信させ、調査料
等さまざまな名目で金銭を
支払わせるのです。

この結果、消費者は当初
の詐欺被害に加え、
二次的に
被害にあ
うことにな
りかね
ません。

ご注意ください。
（文と絵）司法書士 山田茂樹

【問合せ】
企画観光課（42） 3964



町の人口と世帯

（平成27年10月31日現在）
（ ）内は前月比

総人口	7,185人	(±0人)
男	3,414人	(+2人)
女	3,771人	(-2人)
世帯数	3,038戸	(±0戸)
転入	15人	転出 9人
出生	3人	死亡 9人

(10月届出分)
戸籍だより



おめでとございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
南郷	けん 健	男	菊地 翔
江奈2	り 理 ひと 仁	男	藤井義巳
江奈2	ひいろ	女	吉田英人

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
池代	山本てい	96	金谷頼子
西区	近藤佐代子	67	常 寿
石部	高橋なを	87	惠 子
江奈1	菊地てる子	72	岩 雄
岩地	斎藤聖忠	70	匡 紀
伏倉	金子 始	57	千 勢
雲見	山本敦子	70	茂 樹
宮内	大島 隆	90	康 子

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

町の交通事故

平成27年10月発生分

()内は前年同月比

人身事故	1件	(+2)
物損事故	5件	(-7)
死者	0人	(±0)
傷者	1人	(+2)

下田税務署から
電話相談センターの
利用案内について

下田税務署への電話相談は、次の手順に従って行ってください。

【電話相談の手順】

- ① 下田税務署へお電話ください。
- ② 自動音声によりご案内しますので、**[1]**を押してください。(案内の途中でも押すことができます)
- ③ 自動音声に従って、相談したい内容の番号を選択してください。

【受付時間】

午前8時30分～午後5時

※土・日・祝日、年末年始を除く。

【問合せ】

下田税務署（22） 0185

松崎文芸

— 短 歌 —

一本づつ白髪ぬくがに草ひきて
老いの仕事の限りもあらず
中村 宣子

古里の浜辺に遊ぶひとときは
老いを忘れる子供にかへり
飯野 ふさ

海を見下ろす棚田に灯るキャンドルの
ゆらげば浮かびてくる友の顔
堀岡 洋子

夏の間を咲きつづける合歓の
花見あぐる空を紅に染めゆく
山本智恵子

広報まつねぎ

二〇一五年十二月一日発行
通刊 第六一九号

〒411-3696 静岡県賀茂郡松崎町宮内三〇一ノ一
☎〇五〇四二一三九六四 ㊟〇五〇四二一三二八三

発行 静岡県松崎町
印刷 (株)山本印刷

編集 企画観光課